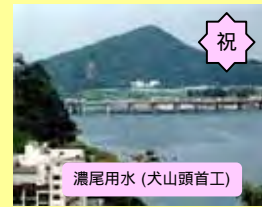


濃尾用水が日本の「疏水百選」に選ばれました!

昨年未まで投票を受付けていた「疏水百選」の投票結果が2月2日公表され、約500地区の候補の中から110地区が初選定されました。当地区からは、皆様の投票のおかげもあり「濃尾用水(犬山頭首工、宮田用水)」が見事選ばれました!

疏水とは、かんがいなどのために造られた農業用水路のことで、今回の選定は、歴史や伝統があること、用水の機能を持つこと、農業振興や地域コミュニティの形成に役立っていることなどを観点に行われました。詳しくは事務局HPをご覧ください。

疏水百選決定!
2006.2.3
百選一覧はこちらをご覧ください
<http://www.inakajin.or.jp/sosui/>



教えて!の1人Q&A

皆さまからの質問にお答えしています。

Q1: どうして“濃尾”って言うのでしょうか?

A1: 今の岐阜県の南部、木曾川より西の長良川と板取川、揖斐川の流域を昔の国の名前で“美濃の国”と呼び、愛知県の西方の県境である木曾川から名古屋を含む平地の地域を“尾張の国”と呼んでいました。この二つの国の平らな穀倉地帯を、それぞれの国の名前から1字、美濃の“濃”、尾張の“尾”を取り出して並べ“濃尾”と言うようになりました。濃尾用水の流れている「濃尾平野」は、広さ約1,800km²で日本で2番目に大きな平野です。

Q2: お米を美味しく食べられる期間はどれくらいですか?

A2: 精米したお米の賞味期間は、季節によって変わります。下の図のように、高温多湿になる時期は保存期間を短くしなければなりません。気温が30度を超えると、お米はたちまち劣化してしまいます。冬場に10キロ買い、1カ月で食べ切っていた家庭なら、6月以降は5キロぐらいを目安にして買いすぎないように注意をしましょう。

お米の保存は、風通しがよく、涼しくて暗い場所が適当です。

今の家庭の台所には、この条件を満たす場所が少ないため、10キロまとめて買った場合には、2~3キロを台所に置き、残りを納戸などにしまっておくとよいでしょう。



〔総合食料局ホームページより抜粋〕

編集・発行 リフレッシュ濃尾用水・編集事務局 refresh_noubi@tokai.nn-net.go.jp

紙面の内容に限らず、農業農村整備事業に興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

農林水産省 東海農政局 新濃尾農地防災事業所(しんのうびのうちぼうさいじぎょうしょ)
(〒491-0903 愛知県一宮市八幡5-1-14 TEL0586-47-7720 FAX0586-47-6851)

犬山支所(〒484-0085 愛知県犬山市大字犬山字西古券地先 TEL0568-62-6201)
羽島支所(〒501-6074 岐阜県羽島郡笠松町新町42 TEL058-218-2127)

【ホームページアドレス】

新濃尾農地防災事業所: <http://www.tokai.maff.go.jp/nougyou/seibi/kensetu/sinnoubi/>
農林水産省: <http://www.maff.go.jp/> 東海農政局: <http://www.tokai.maff.go.jp/>

e-mailでもお待ちしています!

リフレッシュ濃尾用水

【編集発行】
農林水産省東海農政局
新濃尾農地防災事業所
2006年3月 第11号

Topics!

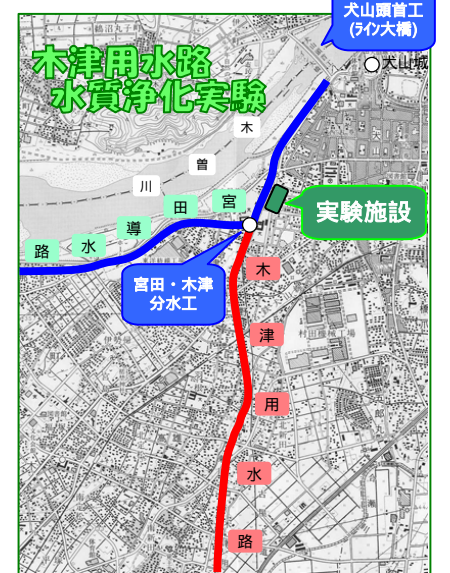
- 10月より実施している用水路などの改修工事が、4月からの通水に向け間もなく完成します!
- 4月より、犬山市内において木津用水路の水質浄化実験を開始します。
- 3月12日、羽島市で開催された第11回「逆川掃除」に当事業所職員も参加しました。
- 2月2日、長い歴史や優れた景観を誇る疏水の百選として「濃尾用水」が認定されました!

木津用水路の水質浄化実験を開始します!

~きれいな水からおいしいお米を~

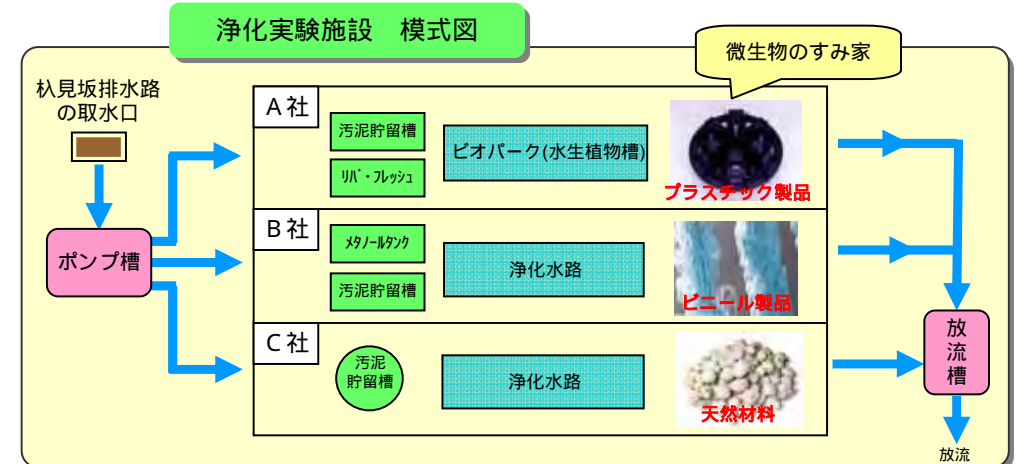
木曾川を水源として犬山頭首工より取水している「木津用水路」は、三百数十年に渡り、濃尾平野の広大な農地を潤している農業用水路です。用水路は、木津用土地改良区により日常管理が行われていますが、最近では、周辺地域の都市化・混在化に伴う家庭雑排水等の流入により、農業用水の水質が悪化し、農作物の収量が減ったり、質の良いお米がとれなくなったりするなどの被害が出ています。

当事業所では、このような水質障害に対処するための改修工事を計画していますが、4月からその一つの取り組みとして、木津用水を農業に適した水質まで改善するために必要な「水質浄化実験」を行います。実験は、安定的・持続的に浄化性能を発揮できる技術を検証するため、水質浄化に特化した民間企業3社のノウハウを活用しながら実施していく予定です。



今回の水質浄化実験は、自然にいる微生物を使って、水をきれいにする実験です。それぞれの実験は、微生物のすみ家が異なり、上手に微生物をすませることができれば、その実験の水質浄化の効果は高くなります。

微生物のすみ家
A社: ポール状のプラスチック
B社: ひも状のビニール
C社: 木や石などの天然材料



水路や川のゴミ拾い、皆さんお疲れさまでした！

第11回「逆川(ぎゃくがわ)掃除」

3月12日(日)、羽島市を流れる逆川において毎年恒例の逆川掃除が行われ、当事業所からも有志職員が参加しました。

当日は、時折小雨が降るあいにくの天気となりましたが、主催団体の「ひろりん村(環境ボランティア団体)」をはじめ、地域住民や中学生など総勢約130人の有志が集まり、周辺のゴミ拾いや、川底に沈んだ多くのゴミを取り除く作業を行いました。

ポイ捨てや投棄が行われないう、マナーが守られる環境作りが大切です。今回参加を逃した方は、ぜひ一度参加してみてください。清掃後にいただけるご飯と豚汁はとってもおいしいですよ！

第10回「クリーンコミュニケーション大江&蟹江川」

2月5日(日)、美和町内を流れる大江川(大江排水路)と蟹江川において、毎年恒例の清掃活動が行われ、当事業所からも有志職員が参加しました。この活動は、地域住民による町づくりの一環として、地元のボランティア団体である「美和かしの木会」の主催により毎年行われているものです。

当日は、大寒波の到来と重なり、手足もかじかむ雪の上での集合となりましたが、早朝より大人から子供まで総勢約500人が集まり、およそ4kmの範囲に渡って、河川敷や公園等に散乱しているゴミを拾いました。清掃後に振る舞われた豚汁とおにぎり、とってもおいしかったです！

そうじ開始！

ゴミはクレーンで引上げます

自転車なども見つかりました

早朝から大勢集まりました

感謝状を頂きました！

そうじ開始！

PRパンフの配布も行いました

ごみをすてないで
おえがわには
ごみをすてないで
いえんもちがえりましよう。

ゴミは決められた場所に捨ててきれいな町づくりをしましょう

農業用水の通水が始まります！



農業用水路・排水路の改修工事は、3月末でひと段落し、春になると、水路にはまたたくさんの水が流れ始めます。よいこのみんなは、水路の近くなど危険なところには近づかないようにしましょうネ！



犬山頭首工を出発点に「犬山国際友好シティマラソン」が開催！

2月12日(日)、犬山市において「第24回犬山国際友好シティマラソン」が開催されました。スタート地点が犬山頭首工(ライン大橋)のすぐ横ということで、当日は、頭首工管理所の職員をはじめ、当事業所の職員も横断幕を持って応援に駆けつけ、現在補修工事を実施している犬山頭首工の様子を眺めながら、木曾川の堤防や城下町を駆け抜ける5,000人以上の参加ランナー達の健闘を見守りました。



約5,500人のランナーが参加しました



10kmの部のスタート(写真左側が犬山頭首工)



当事業所犬山支所の前で応援しました

犬山頭首工の補修工事は、木曾川の非出水期(10月から翌年5月まで)を利用して河川内を締め切り、構造物の補修を行うものです。工事は平成12年度から約6年間(6回の締切)かけて実施しており、現在、最後となる6回目の工事を平成17年10月から開始しています。主な工事の進捗状況は以下のとおりです。



管理橋新設工事

岐阜県側から行ってきた管理用歩道橋の架設がほぼ終わりました。引き続き、舗装工事等を行っていきます。



ゲート改修工事

今期工事では土砂吐ゲート2門の取り替えを行っています。現在、1門の更新が完了しました。



舟通しクレーン新設工事

舟通しを通過するためのクレーン設備の設置が完了しました。現在、試運転調整を行っています。

大江川だより



姿となりました。(つづく)

このため、昭和四十四～六十二年にかけて、大江川に沿って新たに農業用水専用の水路を埋設し、従来の水路を排水専用にする国営濃尾用水第二期土地改良事業が実施されることとなりました。これにより、大江川は現在みられる姿となりました。(つづく)

刻な問題です。このため、昭和四十四～六十二年にかけて、大江川に沿って新たに農業用水専用の水路を埋設し、従来の水路を排水専用にする国営濃尾用水第二期土地改良事業が実施されることとなりました。これにより、大江川は現在みられる姿となりました。(つづく)

大江排水路 (大江川) 物語 第五話

